

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 33 羽田空港の再拡張・国際化と京浜臨海部活性化	
総合評価（検討が必要な事項）		対応内容
総合分析の妥当性等		
<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は概ね妥当である。 		
<ul style="list-style-type: none"> 目標①と目標②の実現達成に向けた分析は妥当であると考ええるが、課題の大きさに対して全体としての総合分析はやや抽象的であると考ええる。 		<ul style="list-style-type: none"> 白書に、より具体的な記述を加えました。
新たな政策課題		
<ul style="list-style-type: none"> <u>京浜臨海部では、昨年、民間企業による太陽光発電、バイオマス発電の大型プロジェクトやバッテリー工場の計画が発表されたことから、地元川崎市とともにこのような企業の活動と、いかに協働し支援を行っていくか検討する必要がある。</u> 		<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。
<ul style="list-style-type: none"> 羽田空港は東京側に立地しており、神奈川口だけでなく、多摩川を挟んでより緊密な連携を構築する必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 34 三浦半島の魅力あふれる地域づくり	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
総合分析の妥当性等		
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>総合分析は妥当である。</u> 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録は、2008年に当初の予定から少なくとも1年は延期になったこと又、今後の取り組み等強化する必要があること等について触れる必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 白書に世界遺産登録に関するスケジュールが変更になった理由などについて記載を加えました。
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>「三浦半島に住む人々がうるおいをもって快適にくらす」というめざすすがたの実現のためには、みどりの保全、ツーリズムの展開、地域の連携強化（道路網の整備）だけでなく、「神奈川力構想・実施計画の点検結果」にあるように、地域住民の生活にかかる取組みを実行する必要がある。</u> 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期計画に向け対応を検討します。
新たな政策課題		

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 35 環境共生モデル都市圏の形成	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
総合分析の妥当性等		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトをとりまく課題として、相模線の複線化や新幹線新駅設置の頃には県人口の減少が予想される中どう対応するのか検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> 課題については、地域県民の合意を得ながら一つ一つ克服していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> <u>低炭素型都市づくりの試みが各地で進められている中で、このプロジェクトのめざすすがたに向けた個別の取組みが、妥当なのか検証する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 次期計画に向け対応を検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> 県央・湘南都市圏において環境共生モデル都市圏というのであれば、農地や緑地保全についての課題があるので、その指標等を検討する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 36 相模湾沿岸地域の魅力の保全と創造	
総合評価（検討が必要な事項）		対応内容
総合分析の妥当性等		
<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 		
新たな政策課題		
<ul style="list-style-type: none"> <u>各事業ともに、県とNPOが協働・連携して実績を上げて</u> <u>いるが、今後は県民に広く各事業について理解を深めても</u> <u>らい、県民そして地元市町村と協働・連携を強化していく</u> <u>ことが必要である。</u> 		<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 37 交流・連携による県西地域の活性化	
	総合評価（検討が必要な事項）	対応内容
総合分析の妥当性等		
	<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> <u>山静神サミットの果たす役割は大きく、具体的な取組みを一層推進する必要がある。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。
新たな政策課題		
	<ul style="list-style-type: none"> 県西地域の活性化のためには県が中心となって推進すると同時に、民間人の活用や協働でのまちづくりの観点からNPO、観光関係の協会やボランティア、地域県民を含めた活動を今後一層活発に進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施の中で対応を検討します。
	<ul style="list-style-type: none"> このプロジェクトとして、観光事業の他に県が注力している林業の活性化や、企業誘致に積極的に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期計画に向け対応を検討します。

総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	P J 38 安全で活力ある県土づくり	
総合評価（検討が必要な事項）	対応内容	
総合分析の妥当性等		
<ul style="list-style-type: none"> 総合分析は妥当である。 		
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトをとりまく課題に交通渋滞の解消課題として、平成24年度完成予定のさがみ縦貫道のインターチェンジへのアクセス道路の整備について記載する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 白書に、さがみ縦貫道路の開通に合わせたインターチェンジ接続道路の必要性について、記載を加えました。 	
新たな政策課題		
<ul style="list-style-type: none"> <u>少子高齢化に対応した、地域のまちづくりの成功例を県民にも知らせ、まちづくりの促進に役立てることが効果的である。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 次期計画に向け対応を検討します。 	